

としょかんがすすめる なつやすみの本（ようじむき）

「ライオンのすてきないえ」

西村敏雄／作
学研教育出版（Eニ・ラ）



ライオンの家をたてている大工のさるが、ひとやすみしているあいだに、いろいろなどうぶつがやってきて、かってに家をつくるてつだいをしてしまいます。さて、どんな家ができたかな？

「ミルクこぼしちゃだめよ！」

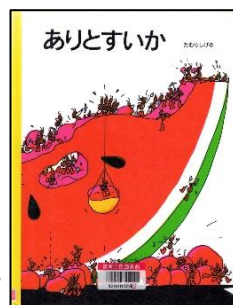
スティーヴン・デイヴィーズ／文
クリストファー・コー／絵
ほるぷ出版（Eコ・ミ）



西アフリカの村にすむペンダは、山の上にいるお父さんにミルクをとどけることにしました。あたまの上にミルクを入れたおわんをのせて、こぼさないように歩いていきますが…。

「あいとすいか」

たむらしげる／作・絵 ポプラ社
（Eタ・ア）



ある夏の日に、ありがすいかをみつけました。ありはよろこんで、すいかをすに運ぼうとしましたが、大きくて動かさません。そこで、なかまをよびにいきました。

「こんた、バスでおつかい」

田中友佳子／作・絵 徳間書店
（Eタ・コ）



こぎつねのこんたは、おばあちゃんのうちに、とどけものをするこことになりました。でも、「のってはだめよ」といわれていたバスにのってしまって、たいへんなことに！

「ねぼすけスーザのおかいもの」

広野多珂子／作 福音館書店
（Eヒ・ネ）



いつもねぼうをするスーザが、きょうは早くおきました。まちにかいものにいくのです。まちについたスーザは、いちばんすてきなものをさがしますが…。

「はっきよい畑場所」

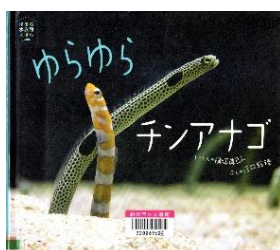
かがくいひろし／作
講談社（Eカ・ハ）



はたけでやさいたちがおすもうをしているよ！たまねぎ、にんじん、きゅうり、なす、だいこん、すいか、さーて、だれが勝つか？

「ゆらゆら千アナゴ」

横塚眞己人／しゃしん
江口絵理／ぶん ほるぷ出版
（Eヨ・ユ）



千アナゴを見たことあるかな？細長くて、砂の中に体をいれたままゆらゆらゆれている、ふしぎな生き物だよ。千アナゴの一日をしょうかいするよ。

「おむすびころりん」

よだじゅんいち／ぶん
わたなべさぶろう／え 偕成社
（Eワ・オ）



むかし、おじいさんが山で、たべようとしたおむすびをあなにおとしてしまいました。すると、あなの中から「おむすびころりん すっとんとん」という、うたがきこえてきて…。

「おはよう！しゅうしゅうしゃ」

竹下文子／作 鈴木まもる／絵
偕成社（Eス・オ）



ごみをあつめるしゅうしゅうしゃがやってきました。おかれているごみのふくろを、おじさんたちがどんどん中へいれていきます。いっばいになった車はどこへいくのかな？

「どしゃぶり」

おーなり由子／ぶん
はたこうしろう／え 講談社
（Eハ・ド）



あつい夏の日にまっ黒な雲がやってきて、「ぼつっ！ぼつっ！」と、大きい雨がふりだした！ぼくは雨の音をきいたり、ジャンプしたりして、雨といっばい遊んだよ！

「スイミー」

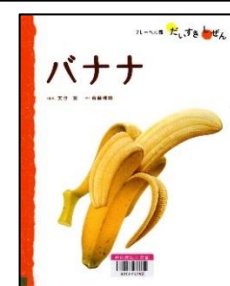
レオ＝レオニ／作 好学社
（Eレ・ス）



小さな黒い魚のスイミーは、海の中できょうだいたちとくらしていました。でも、ある日、きょうだいたちが大きな魚に食べられてしまって、一ぴきだけになってしまいます。

「バナナ」

斎藤雅緒／絵 フレーベル館
（Eサ・バ）



バナナは好きですか？バナナは日本より南にあるあついい国でつくられています。どんなふうに育てて実が食べられるのか、この本で見てくださいね！

「14ひきのとんぼいけ」

いわむらかずお／さく
童心社（Eイ・ジ）



夏の日、ねずみのきょうだいたちは、とんぼ池へ遊びにでかけました。池の中を、木の枝のポートにのってすすんでいくうちに、ねずみたちはいろいろな生き物にであいます。

「おばけかぞくのいちにち」

西平あかね／さく
福音館書店（Eニ・オ）



おばけは、夜に保育園や仕事にいて、朝になると夜までねむります。でもある日、おばけの子のたろぼうは、夜になる前にめがさめてしまって、一人で遊びにでかけてしまいました。

「もうぬげない」

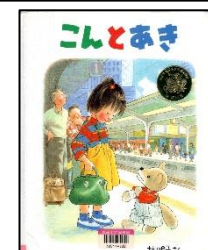
ヨシタケシンスケ／作
プロンズ新社（Eヨ・モ）



おフロのときに、おかあさんがいそいで、ぼくのふくをぬがそうとしたから、ひっかかってぬげなくなっちゃった。「ひとりでぬぐ」といって、いろいろやってみたけれど、ぬげなくて…。

「こんとあき」

林明子／さく 福音館書店
（Eハ・コ）



おばあちゃんがつくってくれたぬいぐるみの「こん」のうでがほころびてしまいました。なおしてもらうために、こんとあきは二人で電車にのって、おばあちゃんの家に行きます。